2020年12月6日

差枚	-1347枚	RANK	C

実戦機種

SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～絆2、ほか

実戦レポート

前々回は朝イチで「SLOTまどか新編」の設定4以上に座るも粘り負け、前回は高設定に何度か座るもそれを感じられず捨てて負け、という感じで、本日のお店では過去2ヵ月続けてめちゃくちゃ「惜しい」内容だったと自負している。さぁ、今回こそ三度目の正直だ！　と願いながら引いた入場抽選の結果は「41番」。また後方じゃねーかよ…。ま、まぁ、設置台数に対しての入店人数を考えると、朝イチで全てが決まるってほどでもないだろうし、目の前の台に拘りすぎず店内状況に注意しながら立ち回るか…。そんな事を考えながら入店。とりあえず、高設定投入率としては鉄板レベルのノーマルタイプコーナーを見に行くと、バーサスもディスクアップも満席。マジか！　ハナビは2台空いているが…とか言っているうちに1台取られた。バーサスの方が入りやすいイメージがあるから、残り1台に飛びつくほどでもないなぁ。

というわけで改めて1台目を決めるべく店内を見回すと、ノーマルタイプに人が集まったおかげで、全台系常連の星矢SP等を除けば、その他のシマは割と何でも選べる状況。「バジリスク絆2」なんて誰も座ってないじゃねーか。以前から何度か（勝手に）主張しているのだが、この機種は全台ハズレという扱いにはなりづらいと思っている。よし、ここから攻めるか！　選びたい放題なので、一応は特定末尾のなりやすさも考慮して、内カドからスタート。すると、何事もなく100Gが過ぎ、200Gが過ぎ、その間弱チェリーもチャンス目も高確以降もまったく芳しくない展開。これ以上打つと、800Gの同色BC天井を意識しなきゃならなくなるんだよなぁ…。当初の戦略は「目の前の台に拘りすぎない」だったしなぁ…。ということで、この台はヤメ。

2台目は「導入以来目立った出玉がない」という理由で「アナターのオット!?は一です」を打つも、最初のゆるちゃれをスカって、設定6の期待度が激減して即ヤメ。3台目はバラエティの「ダンまち」を打つも、RT周期を何回か消化するうちに、弱チャンス目がスカったのでヤメ。とまぁ店内を縦横無尽に駆け巡っているうちに、何となく特定末尾の候補も3つぐらいに絞られてきたが…3つかぁ～。その末尾の高設定投入率が90%以上ならば攻める価値ありだけど、過去の例から察するにせいぜい50%程度だしな。そこからさらに候補が3つとなると、単純に正解率は1/3。そもそもその3つの中に正解があるかどうかも不確かなので、こりゃあまだ気にせず打った方が良さそうだ。という冷静な状況判断により、乱れ打ちっぷりがさらに加速。ラブ嬢2、エウレカ3、捨てられたバーサスやディスクアップなど思いのままに高設定を探しまくり、実に順当な敗北を喫したのであった。まぁ正直、立ち回りも難しい日だったのは否めないけどさぁ…最初に打ったバジリスク絆2が全台高設定だったってオチは、あんまりじゃないかねぇ？